

■演題

ヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いた薬理試験法の現状と今後の展望

■要旨

ヒト iPS 細胞技術の発見により、今まで入手が困難だったヒト細胞が *in vitro* 試験系に利用できることから、医薬品の安全性や有効性のヒトにおける予測性を更に高めて、医薬品開発の効率化やコスト削減、被験者の安全性確保など創薬プロセスの変革が期待されている。ヒト iPS 細胞由来心筋細胞に関しては、現在、催不整脈作用評価の議論が進んでいるが、それ以外にも、抗がん剤の心毒性評価、COVID-19 治療薬の評価など幅広い利用法が考えられており、検証試験も実施される予定である。そこで、本セッションでは、ヒト iPS 細胞技術を用いたレギュラトリーサイエンス研究をご紹介します、今後の展望を議論したい。